

令和4(2022)年

8月1日

第255号毎月発行

編集 公民館だより編集室
発行 西東京市公民館

毎月第4月曜日は休館日です

西東京市

公民館だより

市ホームページをご活用ください!

今月号に掲載の講座一覧は、市ホームページでもご覧いただけます。詳細情報やチラシを掲載している講座もありますので、ぜひご確認ください。



柳沢公民館 柳沢1-15-1 ☎042-464-8211
田無公民館 南町5-6-11 ☎042-461-1170
芝久保公民館 芝久保町5-4-48 ☎042-461-9825

kouminkan@city.nishitokyo.lg.jp
tana-kou@city.nishitokyo.lg.jp
shiba-kou@city.nishitokyo.lg.jp

谷戸公民館 谷戸町1-17-2 ☎042-421-3855 yato-kou@city.nishitokyo.lg.jp
ひばりが丘公民館 ひばりが丘2-3-4 ☎042-424-3011 hibari-kou@city.nishitokyo.lg.jp
保谷駅前公民館 東町3-14-30 ☎042-421-1125 ekimae-kou@city.nishitokyo.lg.jp

芝久保

サロンコンサート

クラシック音楽で夏の思い出を

ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、クラリネット、ピアノの室内楽アンサンブルをお届けします。夏の暑さを忘れて、生演奏をお楽しみください♪

時 8月21日(日) 14時~15時

場 芝久保公民館

対 小学生以上の市内在住・在勤・在学者

定 25人(申込順)

プログラム

- ・モーツァルト：クラリネット五重奏
- ・サン＝サーンス：白鳥
- ・エルガー：愛のあいさつほか

演奏 西東京ジュニア・ユースオーケストラ団員

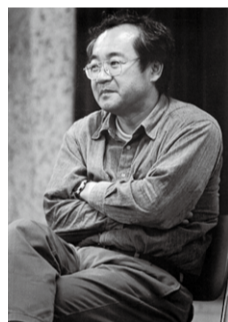
申 8月2日(火) 10時から電話で芝久保公民館へ



ひばりが丘

教養講座

ドキュメンタリー映画作家 佐藤真を知る



©伊藤芳保

深い洞察とにじむユーモアで独特の作品世界を築いた佐藤真監督(1957~2007年)は、一時期を西東京市内に暮らしました。代表作「阿賀に生きる」の公開から30年、早すぎる死を惜まれて15年を経た今、その歩みをたどります。残された作品の先見性と、本質を問うまなざしから、

混迷する現代を読み解く鍵が見つかるかもしれません。最終回に公開上映会あり。

時 9月11日、10月2日・23日、11月13日 日曜日 14時~16時 全4回

場 ひばりが丘公民館

対 市内在住・在勤・在学者

定 20人(申込順)

講 畠山容平(映画監督)、筒井武文(映画監督、東京芸術大学大学院教授)、神谷丹路(翻訳家・佐藤監督の妻)、旗野秀人(映画「阿賀に生きる」協力)

申 8月3日(水)10時から電話かメールでひばりが丘公民館へ

電話での講座申し込みは、平日9時~17時をお願いします。

メールでの講座申し込み方法

アドレス：1面上部参照

件名：講座名

本文：氏名(ふりがな)・電話番号・住所・年代

※後日確認メールを送ります。届かない場合はお手数ですが、電話でお問い合わせください。

芝久保

子育て世代も参加できる講座公開講座

エシカルの基礎と海洋プラスチック問題

オンライン受講可能

~今私たちにできること~

2050年には地球上の魚の重さより海洋プラスチックの重さの方が重くなる? さあ、お買いものものさしにエシカルの視点を取り入れましょう!

時 9月6日(火) 10時~11時45分

場 芝久保公民館

対 市内在住・在勤・在学者

定 会場受講5人、オンライン受講15人(申込順)

講 山口真奈美(一般社団法人日本エシカル推進協議会副会長、一般社団法人日本サステナブル・ラベル協会代表理事)

申 8月4日(木)10時から電話かメールで芝久保公民館へ



田無

小学生と保護者で楽しむ講座

水辺の生物

武蔵野台地の地形、湧き水、小川にすむ魚について勉強します。落合川に入って、親子で一緒に川遊びを楽しみながら水辺の生物を観察して、公民館ロビーに壁面水族館を作りましょう。

時 8月20日(土)、21日(日)、9月4日(日) 10時~12時 全3回

場 落合川、田無公民館

対 市内在住の小学4~6年生とその保護者

定 10組(申込順)

講 豊福正己(東久留米・川クラブ)、北村沙知子(多摩六都科学館)

持 8月20日(土)落合川観察会

小川に入れる服装、帽子、水筒、着替え、タオル、水にぬれてもよい靴、虫よけスプレー

申 8月2日(火)12時半から電話で田無公民館へ



田無

月曜活動サークル 一日ロビー見学体験会

あなたの「何か始めてみようかな」を実現できるサークルに出会えるかもしれません。

時 8月29日(月)

内 10時...西東京ハングルの会 / 10時半...アフガン編グループ田無 / 11時...太極拳TJQ / 14時...女声合唱コールファミリア

場 田無公民館

対 市内在住・在学・在勤者

定 1団体の見学体験9人(申込順)

申 8月3日(水)10時から電話か窓口で田無公民館へ

※9月27日(火)は火曜活動サークルの見学体験会を開催します。その後は、10月26日(水)、11月10日(木)、12月23日(金)、1月28日(土)、2月26日(日)の予定です。

保谷駅前

人権講座

子どもの権利を考える ~西東京市子ども条例すごろくをつくらう!~

条文をもとに、日頃ありがちな出来事を使って西東京市子ども条例が守られているかどうか、楽しく遊びながら子ども自身が確認できるすごろくづくりにチャレンジします。中高生の参加歓迎!!

時 8月28日、9月4日・11日 日曜日

10時~12時 全3回

場 保谷駅前公民館

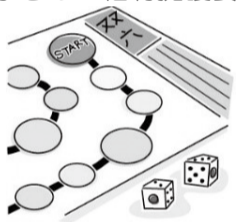
対 中学生以上の市内在住・在勤・在学者

定 25人(申込順)

- 内
- ①子どもの権利条約関西ネットワーク制作の「子どものけんり なんでもやねん! すごろく」で遊ぼう。国連子どもの権利条約を知ろう。
 - ②西東京市子ども条例を知ろう。
 - ③西東京市子ども条例すごろくをみんなで作ろう!

講 ①③木村真実(西東京市子どもの権利擁護委員・弁護士) ②野村武司(東京経済大学教授・弁護士)

申 8月8日(月)10時から電話かメールで保谷駅前公民館へ



保谷駅前

防災講座

No more 後悔! 被災経験者から学ぶ明日への備え

「災害対策しなきゃ!」と思いつつ、後回しにしていますか? 後悔しないために、災害に必要な備えをみんなで考えましょう。どんな備えをするかは、あなた次第です。

時 8月28日、9月11日 日曜日 14時~16時 全2回

場 保谷駅前公民館

対 市内在住・在勤・在学者

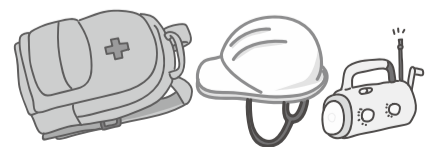
定 20人(申込順)

- 内
- ①オンラインで熊本地震の被災体験を聞こう!
 - ②あなたの災害対策の達成度は何%ですか?
 - ③ワークシートを使って明日への備えを可視化してみよう!

講 小野修平(ジョージ防災研究所代表・防災アドバイザー)、伊藤暢章(熊本市政策局危機管理防災総室副室長・他県の被災地のサポートもしてきた)

申 8月2日(火)10時から電話かメールで保谷駅前公民館へ

※「東京学芸大学教育支援専攻生涯学習コース」で学ぶ学生有志との共同企画です。



時とき 場ところ 対象 定員 内容 講師 費用等 保育 持ち物 申込

声の「公民館だより」をお届けしています。知り合いで希望される方がいらっしゃいましたら、谷戸図書館(電話042-421-4545)へお問い合わせください。

サークルから **会員募集**

TIC田無日本語教室
月4回水曜日 / 10時～11時半 / 田無公民館 / 月額200円 /

柳沢英会話サークル
第1・3火曜日 / 19時～20時半 / 柳沢公民館 / 入会金2,000円・月額2,000円 /

中国水墨画龍の会
月4回水曜日 / 13時半～17時 / 谷戸公民館 / 月額3,000円 /

ピアノひけるよ会
第1・3水曜日ほか / 10時～13時 / 田無公民館ほか / 入会金2,500円・月額3,000円 /

二十四式の会（健康太極拳と練功十八法体操）
毎週火曜日 / 14時～16時 / 田無公民館 / 入会金1,000円・月額800円 /

パンジー英会話
月4回水曜日 / 18時40分～20時50分 / 柳沢公民館 / 入会金2,000円・月額4,000円 /

韓国語への扉
第2・4水曜日 / 13時20分～18時半 / 田無公民館 / 1回1,000円 /

タンポポの会（歌声サロン）
第1・3月曜日 / 13時半～15時半 / 田無公民館 / 参加費1回500円 /

トリム ポピー（健康体操）
毎週金曜日 / 10時～11時半 / 総合体育館第2体育室 / 入会金1,000円・月額1,500円 /

※金額の記載がないものは無料です。

10月1日号の原稿締め切りは、8月19日(金)です。

おたのしみ川柳 今月のお題「虫」

炎天下図書館籠る本の虫
虫めがね拡大してもまだ見えぬ
宅地化でかぶと虫には住宅難

氏名・ペンネーム・住所・電話番号を記入の上、お近くの公民館に郵送、メール、持参でお寄せください。

10月号テーマ「スポーツ」
（「スポーツ」の文字を入れなくても構いません）

締切 8月25日(木)

かわず
きいら
仲よし

サークルから **催し物案内**

「天皇の名のもとに 南京大虐殺の真実」上映会&意見交換
ピースナウ西東京&市民自治井戸端会議

8月20日(土) / 13時半開場・14時上映 / 柳沢公民館 / 定員50人(事前申込) / 参加費300円 / 8月2日(火) 10時より電話で右記へ /

第15回定期演奏会
保谷弦楽アンサンブル
9月4日(日) / 13時半開場・14時開演 / こもれびホール /

来館時・講座参加時のお願い

- 自宅での事前検温、マスクの着用、入館時の手指消毒にご協力をお願いします。
- 当日、平熱を超える発熱や体調不良がある場合は、来館をご遠慮ください。

公民館運営審議会

傍聴をご希望の方は、事前に申し込んでください。
時 8月17日(水)18時半～
場 柳沢公民館
内 事業計画・報告について
申 電話で柳沢公民館へ

利用者懇談会のお知らせ

利用者みなさんと一緒に、来年度の公民館主催事業やよりよい公民館の運営について考える利用者懇談会を開催します。どなたでも参加できます。定員に限りがあるため、参加を希望する公民館へ、事前にお申し込みください。

◆申し込み方法
電話かメールで参加を希望する公民館へ

◆利用者懇談会日程

館名	月日	開催時間
保谷駅前	9月3日(土)	10時～
田無	9月10日(土)	10時～
芝久保	9月10日(土)	13時半～
谷戸	9月10日(土)	14時～
柳沢	10月2日(日)	10時～
ひばりが丘	10月15日(土)	14時～

市民企画事業 / 事業案内

さがそう！夏の生きもの（夏休み親子自然観察会）

西東京 自然を見つめる会
親子で公園を探検し、昆虫などに手を触れ、夏の思い出にしよう。

時 8月27日(土) 9時半～12時
※雨天の場合は翌日

場 西東京いこいの森公園
※パークセンター集合

対 小学生までの子どもとその保護者(市内在住・在勤・在学者)
※1組3人まで

定 30人(申込順)

講 東浜敬輔(パークレンジャー) 杉山俊也(パークレンジャー)

持 水筒・捕虫網・虫かご
※長そで・長ズボン・帽子着用

申 8月8日(月)10時から電話で下記へ

連

市民企画事業 第3回説明会を開催します

公民館市民企画事業は、市内の自主グループが企画・運営する事業を、一定の審査の上、公民館が講師料を負担して、自主グループと公民館の共催事業として実施するものです。

この制度の利用を考えていて、まだ説明会に参加していない自主グループは、必ず、次の説明会に参加してください。参加する場合は申し込んでください。

時 ①9月7日(水) 10時～11時
②9月8日(木) 19時～20時

場 柳沢公民館

申 電話で柳沢公民館へ



≡ニ紙面講座③ 「コッカ」の話 — ウクライナ編

「コッカ」といっても「国歌」のお話ですが、「国家」にも大いに関係のある話です。「国歌」は市民革命の最中のヨーロッパで生まれました。ルイ王朝を打倒したフランス革命は、すぐさま諸外国の攻撃を受け母国を守る戦争になりました。その最前線の地ストラスブールで『ライン軍の軍歌』としてルジェ・ド＝リール工兵大尉によって作曲されたのが、後のフランス国歌『ラ・マルセイーズ』です。南部のマルセイユからの義勇兵がこの軍歌を歌いながらパリへ進軍したことから『マルセイユ人の歌』と呼ばれ、「自由、平等、博愛(絆)」のモットーと赤・白・青の三色旗と共にヨーロッパ中に広まりました。勇壮なマーチですが、「祖国」「武器を」「自由」「血」「倒せ」と過激な歌詞をマーチで鼓舞します。『ラ・マルセイーズ』の影響は、「解放者」シモン・ボリバルの活躍によってスペインから解放されるラテンアメリカ、「諸民族の春」を迎えるバルカン諸国や「独立統一(リソルジメント)」のイタリアの国歌にも受け継がれます。国歌には、地名や独立の経緯と共に「永遠の自由と郷土」、そして「私たち」という言葉が歌い込まれています。国歌は、「領土、国民、主権」という国民国家の概念を人々の間に浸透させ、母国語で歌われることで国民の「統合」を訴える格好の歌でもありました。

一方、王政の側にも国歌が誕生します。その最初は立憲王政のイギリスでした。18世紀にドイツ人王のハノーヴァー朝となり王国の統合が揺るぐなか、ある劇場で、「神よ、王を護りたまえ」と歌われたのが、『ゴッド・セイヴ・ザ・キング／クイーン』の始まりです。この旋律はドイツの領邦諸国やロシア帝国の初代国歌に使われたばかりでなく、ハイドンが気に入り、同様の『皇帝賛歌』を作曲し、オーストリア国歌やドイツ国歌の旋律に用いられました。「王や国の安寧を神に祈願する」荘重なアンセム(頌歌)風の国歌は、北欧諸国など立憲王政の国歌に受け

継がれます。国歌は帝国主義によって広まります。植民地が独立する際には国旗と共に国歌が制定されます。どのような歌詞(言語)と音楽かをみると、国の「心性」が見えるのが国歌かもしれません。

さて、ウクライナ国歌です。朗々とした最初のフレーズ「ウクライナの栄光も自由もいまだ滅びず」の旋律が繰り返され、「若き兄弟たちよ、我らに運命はいまだ微笑むだろう。我らが敵は日の前の露のごとく亡びるだろう。兄弟たちよ、我らは我らの地を治めよう」と続きます。最高潮のコーラスで「我らは自由のために魂と身体を捧げ、兄弟たちよ、我らがコサックの氏族であることを示そう」と繰り返されます。

キエフ公国が9世紀に成立したのち、ウクライナはモンゴル、ポーランド・リトアニア王国に支配されます。この頃から勇猛なコサックが共同体を作りますが、18世紀にはロシア帝国の支配下に置かれ、奴隷制とロシア化政策が進みます。民族独立運動への弾圧の中、黄と青の二色旗が独立のシンボルとなり、民族主義の詩人チュピンスキーのウクライナ語の詩に、司祭のヴェルビツキーが作曲し、1864年にリヴィウの劇場でこの歌が演奏されました。ロシア革命によりソビエト社会主義共和国連邦(ソ連)の一員になっても、ソ連の圧政は続きます。1920年代の大飢饉では餓死者が400万にも上りました。ナチスドイツの侵攻の際はバルト三国と同じく独立蜂起も試みられましたが、ソ連の「大祖国戦争」の激戦地となり、犠牲者は800万人以上といわれます。

1991年、ソ連の解体後の独立により国歌として制定されました。短調と長調の交替する劇的な旋律は、自由への渴望と迫害の運命を暗示しています。ウクライナの人々は徹底抗戦を呼びかけるこの歌を歌い続けてきたのです。近代脱兎(柳沢在住)